

資料提供	
令和3年12月23日	
担当課 (担当者)	医療政策課 (上田)
電 話	0857-26-7172

令和3年度救急医療功労者厚生労働大臣表彰伝達式の開催

多年にわたり地域の救急医療の確保、救急医療対策の推進に貢献した団体及び個人に対し、厚生労働大臣がその功績を称える、令和3年度救急医療功労者厚生労働大臣表彰の個人の受賞者に対し、同大臣表彰の伝達式を下記のとおり開催します。

記

1 日時

令和3年12月27日(月) 午前11時30分から

2 場所

福祉保健部長室(本庁舎2階)

3 被表彰者

小坂 博基(こさか ひろもと)氏

4 伝達者

中西福祉保健部長

5 その他

例年、厚生労働省で表彰式が開催されていますが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、昨年度に引き続き、今年度も厚生労働省の表彰式が中止となったため、県から伝達を行うものです。

※被表彰者の功績は別添のとおり。

功 績 調 書

氏名	小坂 博基 (こさか ひろもと)
功績内容	<p>平成5年4月に救急告示病院である鳥取赤十字病院に赴任して以来、内科疾患を中心に急性期医療に取組み、疾病の治療と地域住民の健康管理に尽力した。</p> <p>平成16年4月、内科部長に昇進してからは、内科医師をまとめて、循環器疾患、腎臓疾患の患者を昼夜問わず診療し、特に救急患者の対応は、若い医師の模範となった。特筆すべきは、腎臓病を専門に扱う医師が極めて少ないなか、血液透析、腹膜透析の導入のみならず、緊急透析等も引き受け、腎不全患者の救急医療を支えたことである。</p> <p>平成23年の春、鳥取市立病院循環器内科休止に際しては、鳥取市立病院に受診されていた多数の外来患者の受入れや救急患者の対応、鳥取赤十字病院への転院対応など、東部医療圏での循環器医療体制への貢献も果たした。</p> <p>さらに、平成22年7月、鳥取赤十字病院の副院長に就任して以来、令和3年3月まで診療で多忙を極めるなか、病院の運営にも参画、鳥取赤十字病院の特色である災害／救急医療体制の維持、体制強化にも尽力した。現在も鳥取赤十字病院に勤務し診療に従事するとともに、医療スタッフに対して指導を行っている。</p> <p>平成26年10月より、鳥取県東部保健医療圏地域保健医療協議会委員（医療提供部会）への就任をはじめ、平成27年6月より令和3年6月まで鳥取県東部医師会理事に就任し、鳥取県東部医療圏での医療事業へも大きく貢献した。</p> <p>また、平成26年12月からは、二次保健医療圏毎に医療機関・避難所の医療ニーズの把握・分析、県内外の医療救護班の受入、関係機関との調整等を円滑に行う「鳥取県地域災害医療コーディネーター（透析）」として尽力している。</p>

	期間	事由
略歴	昭和52年 4月 1日	福岡大学医学部医学科 入学
	昭和58年 3月31日	同 卒業
	昭和58年 6月 ～ 昭和61年 9月	福岡大学病院
	昭和61年10月 ～ 昭和63年 3月	白石共立病院
	昭和63年 4月 ～ 平成元年 3月	福岡大学病院
	平成元年 4月 ～ 平成 2年 9月	鳥取大学医学部附属病院
	平成 2年10月 ～ 平成 3年10月	鳥取県済生会境港総合病院
	平成 3年11月 ～ 平成 5年 3月	鳥取大学医学部附属病院
	平成 5年 4月 ～ 現在	鳥取赤十字病院（平成22年7月1日～令和3年3月31日まで副院長）
	平成27年6月 ～令和3年6月	鳥取県東部医師会理事